

NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／研究開発型スタートアップ支援人材養成特別講座の運営及びその在り方等の検討に係る調査業務

説明会資料

2025/7/15

※ご参加の際はカメラ、マイクをオフにしてください。事務局で制御させていただく場合があります。

※質疑応答は、チャット欄に記入いただいたものに回答する予定です。説明中にご記入いただいて構いません。必要に応じて、ご発言いただく場合がございます。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部 SSA事務局

tech-ssa@nedo.go.jp

■ 公募内容の説明

- 調査の目的・内容
- 応募要件・実施要件
- 応募方法
- 採択先の選定

■ 仕様書の補足

- 研究開発型スタートアップ支援人材養成特別講座
「NEDO Startup Supporters Academy」について
- 運営・調査業務について

■ 質疑応答

■ 公募内容の説明

■ 事業目的

NEDOは、スタートアップ・エコシステムを下支えするための広い知見、高い専門性を有し、研究開発型スタートアップの成長を伴走支援できる中核的な「支援人材」を育成する研究開発型スタートアップ支援人材養成特別講座「NEDO Startup Supporters Academy」（以下、「SSA」とする）を2017年から実施しています。

本業務は、スタートアップの創出や成長を後押しし、日本の産業競争力の向上に貢献するために、スタートアップ・エコシステムの底上げ・活性化に寄与する人材育成を目指し、SSAの講座の運営やSSA修了生の活動支援、「支援人材」に関する調査等を行うものです。

■ 実施期間

NEDO が指定する日 (2025 年度) から 2027 年9 月30 日

■ 予算規模

2025 年度 (NEDO が指定する日から2026 年 3 月31 日) : 1500 万円以内／年

2026 年度 (2026 年 4 月 1 日 から 2027 年 3 月31 日) : 3000 万円程度／年

2027 年度 (2027 年 4 月 1 日 から 2027 年 9 月30 日) : 1500 万円程度／年

■ 応募要件

応募資格のある法人は、次の（１）～（３）までの条件、「基本計画」及び「2025年度実施方針」に示された条件を満たす、単独で受託を希望する企業等とします。

- （１）当該業務又は関連業務についての調査実績を有し、かつ、調査目標の達成及び調査計画の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- （２）当該業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- （３）NEDOが調査を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。

■ 実施要件

本調査は、採択後、調査委託契約を締結します。調査委託契約の締結にあたっては、最新の「調査委託契約約款」及び「秘密情報等の管理に係る特別約款」を適用します。その他必要に応じて、特別約款の適用を求める場合があります。また委託業務の事務処理においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施いただきます。

事業の実施にあたっては、該当する約款及びマニュアルを遵守いただくことが要件となります。

■ 提出期限及び提出方法

提出期限までにWeb入力フォームからアップロードを完了させてください。持参、郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。

提出先（Web入力フォーム）：

https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/sssa_2025

提出期限：2025年8月8日（金）正午アップロード完了

※締切直前はシステムエラーの可能性があります。余裕をもってアップロード完了してください。

※再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提出書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。

※8月8日（金）当日中に提案受理のメールを連絡担当宛に送付します。

■ 提出方法

- ・ Web 入力フォームに以下の①～⑫を入力し、⑬をアップロード
- ・ ⑬でアップロードするファイルは提出書類毎（全てPDF 形式）に作成し、一つのzip ファイルにまとめる
- ・ アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けない

■ 入力項目

- ①調査名
- ②代表法人名称
- ③代表法人番号（13桁）
- ④代表法人連絡担当者氏名
- ⑤代表法人連絡担当者所属部署・職名
- ⑥代表法人連絡担当者電話番号
- ⑦代表法人連絡担当者 E-mailアドレス
- ⑧提案概要（300文字以内）
- ⑨提案内容・手法のポイント
- ⑩責任者名（所属部署・職名含む）（法人ごとに列記。責任者は業務管理者を指す。）
- ⑪利害関係者
- ⑫初回の申請受付番号（再提出の場合のみ）
- ⑬提出書類

■ 提出書類

- ・ 提案書
- ・ 企業情報
- ・ ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
- ・ NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票及び対応エビデンス
- ・ 直近の事業報告書
- ・ 直近3年分の財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書（製造原価報告書、販売費及び一般管理費明細書を含む）、株主（社員）資本等変動計算書）

■ 審査の方法

- ・ 外部有識者による採択審査委員会（ヒアリング審査）とNEDO内の契約・助成審査委員会の二段階で審査
- ・ 採択先の選定は非公開で行い、審査の経過等、審査に関する問い合わせには対応不可

■ 採択先の公表及び通知

a. 採択結果の公表等

採択した案件に関しては、事業者名（再委託先・共同実施先含む）、事業概要をNEDO のウェブサイト等で公表します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

b. 採択審査委員の氏名の公表

採択審査委員の氏名は、採択案件の公表時に公表します。

c. 附帯条件

採択に当たって条件（予算や体制の変更、経費の支払方法 等）を付す場合があります。

■ 審査基準

a. 採択審査の基準

i. 事業の適合性

(本事業の目的・目標に適合しているか 等)

ii. 開発の優位性

(開発内容に新規性・優位性等があるか 等)

iii. 計画の妥当性

(達成目標が明確で、スケジュールが効率的・効果的か 等)

iv. 実用化・事業化の取組

(実用化・事業化のターゲットが明確で、それに向けた取組に実現性・実行性があるか、社会・経済への波及効果が期待できるか 等)

v. 実施体制・能力

(役割分担が明確で効率的な体制か、必要な人員・設備・支援体制や関連分野の開発実績を有するか 等)

vi. 提案の経済性

(予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく妥当な予算規模か 等)

vii. 総合評価

b. 契約・助成審査委員会の選考基準

- i. 委託業務に関する提案書の内容が次の各号に適合していること。
 - 1. 開発等の目標がNEDOの意図と合致していること。
 - 2. 開発等の方法、内容等が優れていること。
 - 3. 開発等の経済性が優れていること。
- ii. 当該開発等における委託予定先の遂行能力が次の各号に適合していること。
 - 1. 関連分野の開発等に関する実績を有すること。
 - 2. 当該開発等の行う体制が整っていること。（再委託予定先等含む。）
 - 3. 当該開発等に必要な設備を有していること。
 - 4. 経営基盤が確立していること。
 - 5. 当該開発等に必要な研究者等を有していること。
 - 6. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

なお、委託予定先の選考に当たってNEDOは、以下の点を考慮します。

- 1. 優れた部分提案者の開発等体制への組み込みに関すること。
- 2. 各開発等の開発等分担及び委託金額の適正化に関すること。
- 3. 競争的な開発等体制の整備に関すること。
- 4. 一般社団法人若しくは一般財団法人又は技術研究組合等を活用する場合における役割の明確化に関すること。

■選定スケジュール

- 2025年 7月10日（木）：公募開始
- 7月14日（月）：公募説明会申し込み締切
- 7月15日（火）：公募説明会
- 8月 8日（金）：公募締切（正午アップロード完了）**
- 8月20日（水）：採択審査委員会（外部有識者によるヒアリング審査）**
→オンライン（Teams）によるヒアリング審査です。
11時～15時の間に実施予定です。スケジュール確保を
お願いいたします。
- 8月 下旬（予定）：契約・助成審査委員会
- 9月 上旬（予定）：委託先決定、公表
- 9月 中旬（予定）：契約・業務開始

■ 仕様書の補足

「NEDO Startup Supporters Academy」について

■ SSAの目的

日本のスタートアップエコシステムの構築・発展を目的に、広い知見や専門性を持って研究開発型スタートアップの発掘から成長までを伴走支援できる「支援人材」を、産・学・官・公・民の横串で育成（2017年開設）

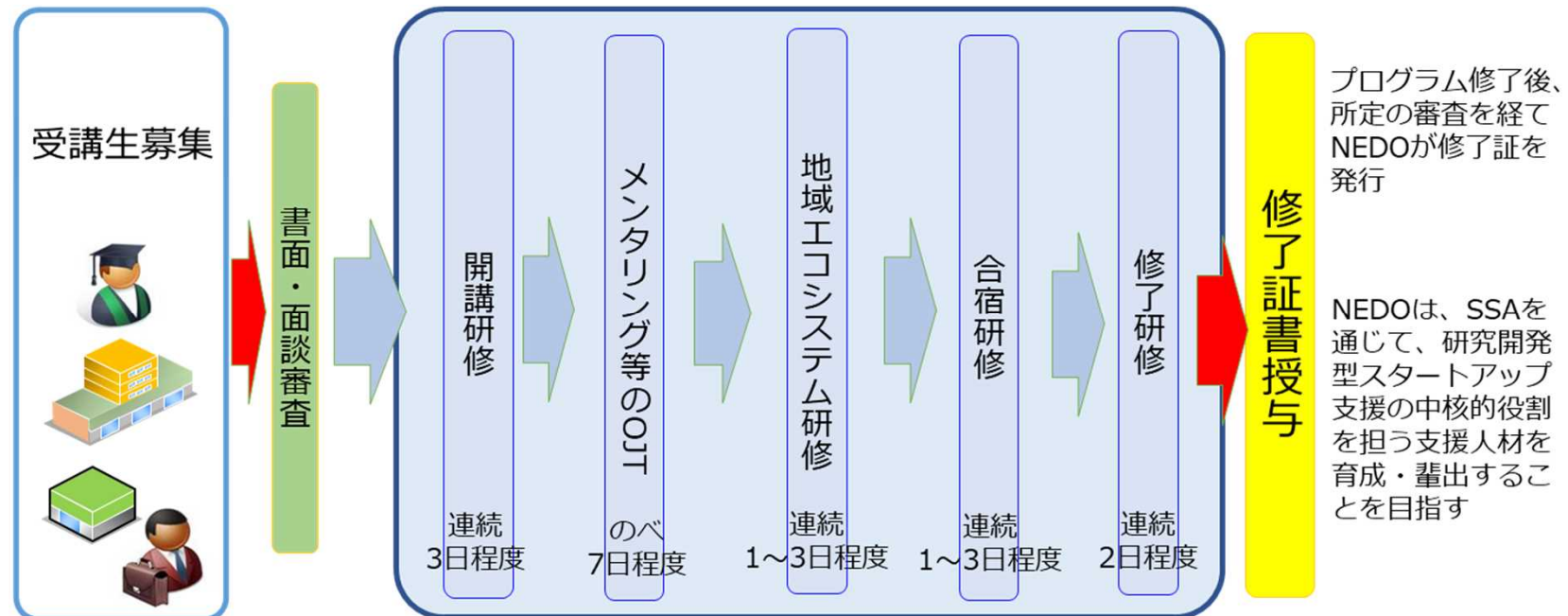
■ SSAの育成方針

- ・ マインドセットの醸成
 - － スタートアップ・ファーストの意識および支援に対する情熱・責任感の醸成
- ・ イノベーションやエコシステムに関する知見の獲得
 - － イノベーションに関する基礎的知見（方法論や考え方等）の獲得
 - － スタートアップエコシステム形成に向けた知見（取り組み）の理解
- ・ スタートアップ支援スキルの向上
 - － 研究開発型スタートアップの支援に必要なスキルの養成
 - － 関連政策や施策等の理解とそれらを使いこなすためのスキルの養成
- ・ 人的ネットワークの構築
 - － 受講生や修了生、SSA講師等との交流を通じた、支援人材間の相互補助ネットワークの構築

「NEDO Startup Supporters Academy」について

■ SSAが目指す支援人材像

- ・ 研究シーズの掘り起しから事業化までの幅広い知見を持ち、良質な人的ネットワークを活用しながら必要な支援を提供できる人材
- ・ 研究開発型スタートアップと**同じ目線で伴走支援**することができる人材
- ・ イノベーション創出環境のデザインやプロデュース、現場課題の改善を主体的に担おうとする人材



■ 業務内容（以下、仕様書に記載の(1)～(4) について示す）

（１）講座の企画

- 企画の対象範囲としては、2025 年11 月以降実施予定の講座（第10 期）から2027 年11 月以降実施予定の講座（第14 期）とすること。
- 企画案については、2024 年度に実施した講座（第7 期、第8 期）、2025 年度講座（第9 期）の内容をベースとして作成し、NEDO と協議の上で確定すること。（表1「実施する講座内容」、仕様書P.6～9掲載した参考2、3の第7期、第8期のプログラムも参照。）
→表1の(a)～(e)の研修区分は維持し、各研修の内容を提案すること。直近の第10期については、研修内容を変更する場合、その必要性や方針を明示すること。
- また、講座（第11 期）以降については、その直前までに実施していた講座の内容に係る効果・分析の結果等を踏まえ、企画案を作成すること。
→運営の結果をアジャイルに次の研修に反映する計画とすること。
- 講座（第14 期）については、期間中の企画・運営の成果を集約、企画案を作成した後、同講座を運営する次期の運営管理法人が円滑にその運営を行うことが可能となるよう、適切に引継ぎを行うこと。
→第14期は、本調査事業の到達点として企画案を提示すること。

- ・ 講座の形態は、「支援人材」同士のコミュニケーションを第一とする本講座の趣旨等に鑑み、対面を基本とするが、必要に応じてオンラインによる開催等を検討し、費用の範囲内で最大の効果が得られるよう設定すること。
- ・ 講座の内容は、講義、グループワーク、グループディスカッション等といった形式を組み合わせ、受講生への効果の最大化を図るとともに、その満足度の向上を狙ったものとする。
→各形式の狙いや効果、必要性が分かるように整理のうえ、明示すること。
- ・ On the Job Training（以下、「OJT」とする）研修において、NEDOカタライザーによる事業者メンタリングへの同席を行っているが、その回数に限りがあり、実際のメンタリング内容には偏りがあることから、受講生それぞれが実践的なメンタリングへの理解力の向上に資する教材（メンタリングの行い方等を解説した動画等：60分程度）を作成すること。
→スタートアップ支援への関わり方や実績に差のある母集団（受講生）を念頭に、メンタリングへの同席による学習効果が高まるよう、動画で解説するポイントを明示すること。

表1 実施する講座内容

研修区分	内容	形式	研修時間
(a) 開講研修 開催場所： 神奈川県 川崎市 K-NIC（予定）	・スタートアップ支援者として必要とされる知識やスキル、マインドセット ・メンタリングの心構え	講義 ワークショップ ディスカッション (15 コマ、講師 21 名)	20 時間程度 (3 日間)
(b) OJT 研修 開催場所： オンライン他	・座学で得た知識の定着、現場対応力の養成、ネットワーク構築の実践トレーニングの機会を狙った OJT ・NEDO カタライザーによるスタートアップに対するメンタリングへの同席（※）	オンライン研修 イベント参加 他	1～3 時間 (1～3 回)
(c) 地域エコシステム研修 開催場所：地域の エコシステム拠点	・スタートアップ・エコシステム拠点等の現場理解 ・地域の特徴的なスタートアップ支援機関による支援政策の紹介 ・地域発スタートアップの登壇	講義 パネルディスカッション 施設見学 他 (7 コマ、講師 7 名)	7～20 時間 (1～3 日間)
(d) 合宿研修 開催場所：関東近 郊を想定	・起業体験を通じた様々な立場での役割、意味の問い直し ・スタートアップ支援者としての強靱なマインドセットの養成	講義 ディスカッション、 グループワーク (7 コマ、講師 7 名)	7～20 時間 (1～3 日間) 合宿形式
(e) 修了研修 開催場所： 神奈川県 川崎市 K-NIC（予定）	・スタートアップ支援者として必要とされる知識やスキル、マインドセット ・カタライザーによるスタートアップの模擬メンタリング	講義 ワークショップ パネルディスカッション (7 コマ、講師 10 名)	7～14 時間 (2 日間)

※「NEDO Entrepreneurs Program (NEP) 事業躍進コース」にて実施している、NEDOカタライザーによるスタートアップに対するメンタリングに、本講座の受講生が同席（オンライン視聴等）する形式で行うもの（なお、受託事業者は当該メンタリングへは同席しない。）

(参考3) 2024年度第2回（8期）プログラム ～開講研修の一例～

仕様書 P.6～9

研修区分	講義タイトル	講師	時間
(a) 開講研修 (11 講義)	・ スタートアップ・エコシステムの様相と課題	東京大学教授 各務茂夫	75 分
	・ 科学技術ビジネスプロデュース論	リバネス CEO 丸 幸弘	90 分
	・ イノベーションの思考論	早稲田大学教授 清水 洋	80 分
	・ ディープテックスタートアップがシード期を乗り越えるためのピッチの描き方	インディージャパン 代表取締役 津嶋辰郎	90 分
	・ オープンイノベーションと技術系を中心とした事業創造	ゼロワンブースター 取締役 合田 ジョージ	90 分
	・ 異能の掛け算 - 新規事業創出の方法論とチーム論 -	Sun Asterisk 増渕健二	80 分
	・ 経済産業省におけるスタートアップ関連政策について	経済産業省 課長補佐 長谷川寛晃	60 分
	・ DeepTech Startup 外部資金公募攻略	ブレイクスイノベーションコンサルティング 塚越常雄	60 分
	・ 研究開発型スタートアップのメンタリング（概論）	S-factory 代表 尾崎典明	70 分
	・ 公的創出支援の制度活用～Plus one 相談窓口の活用事例～	中小機構 課長代理 丸古雅典	70 分
	・ 研究開発型スタートアップの事業計画分析概論	みらい創造機構 高橋遼平	150 分

(参考3) 2024年度第2回（8期）プログラム
～地域エコシステム研修の一例～

仕様書 P.6～9

研修区分	講義タイトル	講師	時間
(c) 地域エコシステム研修 (6 講義) (福岡にて実施)	・ 福岡市のスタートアップ施策について	福岡市 課長 倉光洋規	45 分
	・ 九州大学における産学連携の事例と、エコシステム構築に向けた取り組みの紹介	九州大学 教授 大西晋嗣	45 分
	・ 研究開発型スタートアップ支援におけるアントレプレナーシップ教育と地域エコシステム形成の取り組み	九州大学 教授 高田 仁	45 分
	・ FiaS 周辺見学		
	・ 地域のスタートアップの講義（2 件）	KAICO 代表取締役 大和建太 F. MED CEO 下村景太	40 分 40 分

(参考) これまでの講師例 ※敬称略（登壇時点の所属・役職）



EDiX Professional Group
江戸川公認会計士事務所
代表パートナー 公認会計士
江戸川 泰路



S-Factory代表
一般社団法人TXアントレプレナー
パートナーズ 副代表理事
筑波大学 産学連携本部 客員教授
尾崎 典明



開志専門職大学 学長
東京大学 特命教授
名誉教授
各務 茂夫



弁護士法人内田・鮫島法
律事務所
代表パートナー弁護士
鮫島 正洋



早稲田大学・教授
清水 洋



株式会社INDEE Japan
代表取締役
マネージングディレク
ター
津嶋 辰郎



一般社団法人
鶴岡サイエンスパーク
代表理事
富田 勝



一般社団法人スタートアップ
エコシステム協会 代表理事
A.T. カーニー株式会社 アソ
シエテッドスペシャリスト
アドバイザー
藤本 あゆみ



株式会社リバネス
代表取締役 グループ
CEO
丸 幸弘

(参考) 講座の様子 (開講研修、修了研修@K-NIC)

- ・ 開講研修及び修了研修の会場となるK-NIC (Kawasaki-NEDO Innovation Center) は、移動式の机、椅子で、スクール形式での講義やグループワークに対応。

講義



グループワーク



パネルディスカッション



- 地域エコシステム研修や合宿研修の実施先は、NEDOが指定するが、候補先の提案等については歓迎する。
- 地域エコシステム研修や合宿研修の宿泊を伴う研修では、講師や修了生のネットワーク確立の機会としても位置付ける。

地域エコシステム研修
(講義)



地域エコシステム研修
(施設見学)



合宿研修
(ナイトディスカッションの様子)



(2) 講座の運営

- ・運営の対象範囲としては、2025年11月～2026年3月実施予定の講座（第10期）から2027年5月～2027年9月頃実施予定の講座（第13期）であり、事務局として同講座を運営すること。
 - 企画のみ行う第14期については、次期運営管理法人に企画の説明、運営に必要な情報等を含め引継ぎを行うこと。
- ・基本的に、「(1)講座の企画」において立案した企画案に基づき、各期の運営を行うこととするが、講座（第10期）は、前運営管理法人が作成した企画案を主として運営を行うこととする。
 - 第10期の講座について、研修内容を変更する場合はその必要性や方針を明示すること。
- ・運営にあたっては、本講座の修了生への対応やNEDOとの調整を含め、適切なスケジュール・タスク管理のもとで準備を行い、事務局として効果的・効率的、また円滑に運営を行うこと。（具体的な業務内容は、参考1「2024年度運営業務内容」のとおり。）
 - 各期とも、40名の受講生を想定すること。受講生及び講師、研修先担当者、研修会場担当者との調整業務を円滑に進める工夫・体制を示すこと。

(参考1) 2024年度の運営業務

仕様書 P.6

項目	業務内容
受講生 公募支援	・2次選考（面談審査）：面談日程の調整、受講生への連絡等
受講生対応	・研修プログラム表の作成、メール送付 ・研修当日の受付、出席確認等 ・欠席者対応（研修資料の送付、研修動画およびレポート課題の案内、受付等） ・受講アンケートの作成、とりまとめ ・月次課題（OJT 学習内容や各自の支援活動等に関するレポート）等のとりまとめ ・受講生の支援者レベル確認、取りまとめ
講師対応	・謝金、交通費等の支払準備、支払（原則として、講師は有識者登録の上、謝金の額は当機構の内規で定める額に従うこと） ・講演日時調整等 ・講演資料の刈取、印刷等 ・研修当日の講師受付、案内、印刷資料の配布等
会場設営・ 運営等	・会場下見、関係者打合せ、進行表の作成等 ・研修会場手配（10 万円程度を想定） ・合宿に係る、講師・受講生の宿泊、地元企業の見学会、ナイトディスカッションの手配（100 万円程度を想定、ただし受講生の宿泊費は除く） ・会場設営（机・椅子、PC、映像、音響、録画機器等）、片付け、原状復帰等 ・研修当日の資料配布、スライド投影、音響、照明等の管理・補助、研修のタイムキープ等 ・研修の動画収録および動画納品等（各研修について、講演の様子および音声を収録し、各研修の終了日から 1 週間以内を目安に動画ファイルを NEDO に納品すると共に、研修の欠席者がオンライン視聴できるように動画を限定公開すること。ファイル形式等の詳細は NEDO と協議のうえで決定すること。）

(3) 講座の効果等に係る分析、今後の在り方等の検討

- ・本講座の内容については、常にブラッシュアップし、より高度化を目指すものとする。
そのため、「(2)講座の運営」で実施した内容については、その都度分析し考察を行うものとする。
→本分析・考察に伴って得られた知見は、「(1)講座の企画」へアジャイルに反映させ、講座の効果的な実施へ繋げていくこと。
- ・講座の単元毎に、当該内容・意図・効果等を整理した上で、受講生、講師（スタートアップを含む）等を対象に、改善要望や意見、感想、満足度等の情報をアンケートやヒアリング等により収集すること。
- ・特に、受講生からは研修前後のネットワーキングについての感想や要望を、講師からは受講生がその習得を期待する知見や達成度、今後の期待等についてそれぞれ調査し、その結果を踏まえ考察を行うこと。
→調査の方法やタイミング、分析の観点等を明示すること。
- ・また、過去のSSA運営事業報告書等を参考に、SSAのプログラムの目的・内容について、「SSAプログラム俯瞰表」を見直し最新版として整理すること。また、その俯瞰表と呼応する形で、研究シーズ・スタートアップのフェーズや受講生の経験値・レベル等を縦横軸に取る等工夫したマッピング等も作成し、SSAのターゲット人材やポジショニング等を整理すること。
→SSAの発展・高度化に向けた議論のエビデンスとなるデータ・資料を期待する。

(4) 修了生コミュニティ等の形成促進、講座の魅力等の発信等

- ・ SSA修了生のネットワークの強化や、活躍の場の拡大を図ることを目的として、修了生の活動状況に関するアンケート等を各年度1回は実施し、修了生の具体的な活動状況やその強みを調査すること。（アンケートの設問項目は以下のとおり）

- ① 現在の属性、職務
- ② SSAでの学びや経験がスタートアップ支援業務へどのように活用されているか
- ③ 研修受講前と受講後の知識量や支援実績の変化
- ④ スタートアップや「支援人材」間でのネットワークの形成状況
- ⑤ SSAへの協力の意思確認 他

→上記の他、有効だと思われる設問、調査の観点等があれば理由と共に提案すること。

- ・ 上記の調査結果については、分析・考察を行い、講座の企画への反映と共に、SSA修了生も参加がしやすいイベント等について企画すること。

- ・SSA修了生の人的ネットワークの強化や活躍の場の拡大、各人のスタートアップ支援に係る最新情報のアップデート等を目的として、SSA修了生に対して以下のイベント等を企画・実施すること。なお、開催費用等の抑制も含め、効率的・効果的な内容とすること。

＜SSA修了生コミュニティを活性化させるための定期イベント＞

定期的なイベント等を企画し実施することで、継続的に、受講生と修了生、修了生同士の交流を促すこと。具体的なイベントとしては、開講研修や修了研修時に、スタートアップに関連する最新動向の講義を修了生参加型で開催すること等だが、他に修了生の交流の活性化に資する方策があれば、NEDOおよびSSA修了生の有志等と協議の上で提案・実施すること。

→上記の他、合宿研修の懇親会への修了生の参加等の実績がある。

＜SSA 第10期達成記念イベント＞

第10期の終了後を開催時期とし、修了生の知識のアップデート、ネットワークの強化を目的とするイベントを開催すること。イベントでは、スタートアップに関連する最新動向や先進的取り組みなどの講演、修了生の活躍やキャリアパスの報告、修了生・講師等関係者との交流機会を企画・実施すること。なお、上記の定期開催の修了生イベントに参加しにくい修了生に参加を促すため、全修了生の意向を極力汲んだ開催方法を検討すること。

→第10期終了時点での修了生は370名程度と予想される。

- ・ SSAの取組・成果等（修了生の活動状況の記事、事業概念図等の作成等を含む）を効果的に発信するためのコンテンツ等（HTML、画像、テキスト等）を作成すること。なお、作成したコンテンツ等は、NEDOのホームページ上で公開できるように、NEDOのサーバーセキュリティポリシーに基づき、NEDOのデザイン言語等を踏襲したフォーマットで作成すること。作成にあたっては、コンテンツ内容、作成時期等をNEDOと協議の上で決定すること。
→近日中に、NEDOホームページ内に、SSAの紹介ページを公開予定。
- ・ NEDOが、SSAの事業内容や成果を社会に発信するイベント等を開催するにあたり、会場の確保や登壇者との調整等の実施支援業務を担うこと。
→他のNEDO事業との合同開催や国内関連イベントでのSSAの紹介などが想定される。
- ・ NEDOが行うスタートアップ及び「支援人材」等に対する支援業務のサポートとして、有識者等への謝金等の支払いやスケジュール調整などの支援を行うこと。（具体的には、NEDOが連携協定を締結している大学に対して、NEDOカタライザーを派遣しメンタリング等を実施している。NEDOに代わり、メンタリングに係る謝金等の支払い（必要に応じてNEDOカタライザーが作成する報告書回収・確認等も含む）を実施すること。謝金額は、NEDOの内規に準拠し、年間 10回程度の実施を想定。）
→100万円程度を想定。

本業務で実施した、具体的なアクションや様々な工夫に対して、効果・寄与（効果がなかった場合を含む）を整理し情報を集約すると共に、事業終了時点で自己分析し、提案者が継続的に取り組むにあたって構想する将来像も含めて報告書（和文）の形にまとめる。

■ 中間報告書

提出期限：2026年3月31日、2027年3月31日

提出方法：提出時点における本業務の途中結果を、最終報告書の内容を見据えた形式で取りまとめ、中間報告書（ワード形式もしくはパワーポイント形式）として、当機構担当者まで提出。

■ 最終報告書

提出期限：2027年9月30日（契約期間を延長した場合はNEDOの指示に従うこと）

提出方法：業務内容を網羅した上で、成果報告書のフォーマットに従い作成し、最終報告書（ワード形式もしくはパワーポイント形式）として、当機構担当者まで提出。

※この他、委託期間中又は委託期間終了後にNEDO が実施する報告会（非公開予定）等において報告すること。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部 SSA担当 田中、平山、馬場
E-mail : tech-ssa@nedo.go.jp

※本公募に関するお問い合わせは、上記まで**必ずE-mail** でお願ひします。
電話でのお問い合わせは受け付けません。

※メール件名は以下の通り記載をお願いいたします。

【NEDO SSA事務局公募】 + 会社名 + お問い合わせ内容

例：【NEDO SSA事務局公募】 株式会社〇〇 △△△について

※審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません